



PBL・小中一貫教育・ICTの効果的な活用を推進し育む

吉川市立吉川中学校

令和6年度
グランドデザイン

考える 蓄える 伝える生徒

目指す吉中生

1

考える

- ・自らの考えを持ち、行動する
- ・自ら課題を見つけ、その解決に挑む
- ・他者の考えを受け止め、自らの考えを広げる

2

蓄える

- ・自己肯定感を高め、夢や志に向かう力を蓄える
- ・体験や経験から学び、解決する力を蓄える
- ・健康な身体と健全な心を蓄える

3

伝える

- ・自分の意思を伝え、実行に移す
- ・悩みや不安に負けない心の強さを持つ
- ・良さを見出し、周囲の人に伝える
- ・郷土の文化や伝統を誇りとし伝承する

学校教育目標

「考える 蓄える 伝える生徒」

- ・意欲的に学び、学びに喜びを感じる生き生きとした学校生活
- ・「凜」とした巣立ちの姿を目指す

吉川市教育大綱

家族を 郷土を 愛し

志を立て 凜として生きてゆく

吉川市が目指す生徒像

自分を 人を大切にし 郷土を慈しみ
自らがなりたい自分になるために
他者と協働し あきらめずに希求し
学び続ける人

人との関りを大切にする教育

- ・生徒を信頼し、信頼される教師
- ・多様な価値観を大切にする学校
- ・より良い集団生活のために
「学級会」「生徒会」活動の充実

吉川中の 教師の姿

○ ○ ○ ○
使命感と情熱が溢れる教師（子供の心に火をつける）
授業改善に取り組み、子供に力をつける教師
規範意識と高い倫理観を持ち、気遣いができる教師
「命」と「人権」を大切にする教師

令和6年度 吉川中では

◆学力向上を目指す教育活動

- ・PBL（探究型学習）への移行及び実践
- ・小中一貫教育の推進（学びの系統性・連続性）
- ・“効果的な”ICTの活用とデジタルリテラシー教育
- ・「個別最適な学び」・「協働的な学び」の実践
- ・非認知能力の育成
- ・学習規律の整った学習指導と学級経営

◆「居がい」のある教育環境

- ・いじめのない学校、不登校の早期対応
- ・「道徳科」を中心とした心の教育の充実
- ・「何かおかしい」と感じたら、即声掛け
- ・「生徒のよき変容」が最大の説明責任
- ・精神的・物理的な「安全・安心」の確保
- ・自己肯定感を育む指導の充実

◆吉川中学校区小中一貫教育の推進

- ・合同研修会、小中相互授業参観、小学校での中学校教員による学習指導、小中合同授業
- ・小中9年間の学びの系統性・連続性を重視
- ・小学校での学びの過程をよく理解した教育

◆学級経営の充実

- ・ゆるぎない信頼関係の構築
- ・安心して学べる環境づくり
- ・「誰一人取り残さないための支援」の実践
- ・「自制心」「協調性」「やり抜く力」の育成

信頼関係を築く学級経営 —吉川中職員の合言葉—

不登校0日目作戦／あれから1週間／2分間道徳
／3人目の声かけ／退勤4チェック

すべての子どもたちが 輝くために

